

国はウォーターPPPという水道民営化を**脅し付き**で進めています。

水道PPPは水の官民連携

Public (公) Private (私) Partnership (連携)	レベル3.5	レベル4.0 コンセッション
契約期間	10年	20年～30年
運営権	自治体が 持ったまま	運営会社に 運営権を売却
契約した 自治体	静岡県内では 2025年 富士市	2018年 浜松市下水道 2022年 宮城県上下工
検討・準備 している 自治体	レベル3.5 熱海市、下田市、焼津市、静岡市、 御殿場市、富士宮市、磐田市、 吉田町、藤枝市、沼津市	レベル4.0 コンセッション 静岡県 上水・下水・ 工業用水

全国の「水道民営化を考える市民ネットワーク」では

地方自治体の下水道管改築で
ウォーターPPPを導入しないと、
国費支援を打ち切る方針の撤回
を求める署名 を集めています。



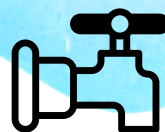
「水道民営化を考える
市民ネットワーク・富士」のHP

水道民営化を考える市民ネットワーク・静岡

連絡先：publicwater18@gmail.com
TEL 090-2944-4335 池谷
kazu6874@gmail.com 池田



紙の署名
チラシ



静岡県が

上水・下水・工業用水10事業で

**期間20年の
コンセッション計画**

コンセッションとは

施設は自治体を持ったまま
運営権を売却する
水道民営化の手法

設備投資も
いらないし

ワハハハハッ！

税金や水道料金で作られた
公営の水道施設、オイラが管理して
ガッポガッポのぼろ儲けだぜ〜♪



コンセッション
本来の意味は
利権

巨大水企業



静岡県知事宛、
「県営水道を民営化しないで」のネット署名

**STOP
水道民営化**



水はみんなの
財産だよ！
民営化でいいの？

ウォーターPPPは民営化に
おしつけやめて
水道民営化の

水道料金は水道事業のために！

民営化の目的は私企業の利益

水道会計の  利益は

公営
の場合

民営化
の場合

利益は
すべて
水道に
使用



役員報酬

法人税

株主配当

水道に
使用

浜松市下水道コンセッション
2018年度～
2024年度の例

金額は
教えてもらえない

合計5.7億円

合計3.9億円

静岡県は現在、県営水道の
コンセッション導入可能性調査中

出来レースだった浜松市

鈴木康友知事が浜松市長だった2017年、浜松市の上水道コンセッション導入可能性調査が行われました。その際、「コンセッションが最善となるように」と結論ありきの調査結果になるよう誘導されていました。

県営水道は公営で！



災害時には自治体同士が
協力し合っています。
公営だからできることです。

宮城県では…

みやぎ県の水道用水供給事業会計

	利益	2021年比
コンセッション 導入前	2021年度 17.56億円	
コンセッション 導入後	2022年度 2.23億円	△15.33億円
	2023年度 2.48億円	△15.08億円
	2024年度 △3.67億円	△21.23億円
	2025年度 △0.15億円	△17.71億円
	4年間合計 0.88億円	△69.36億円



宮城県では民営化後4年間で
合計69億円も
県の水道会計の利益が減りました。

一方、運営企業は…

運営権を手に入れた企業は、
利益率20%（トヨタの約2倍）
4年間の合計で約**24億円**の
利益、**ボロもうけ**です。

東京都では…

💧コンセッションは検討しない方針です。
「一度失った体制、ノウハウを元に戻す
ことは不可能で、災害対応など危機管理
に課題」が理由です。



↑
2026年9月5日
「水道民営化した
宮城県で何が
起こったのか？」
学習会
YouTube配信